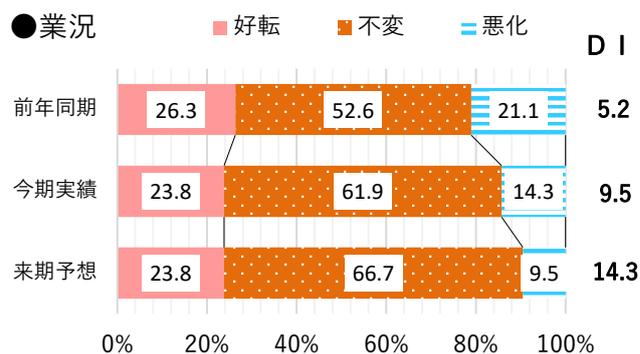


サービス業

業況、売上、採算

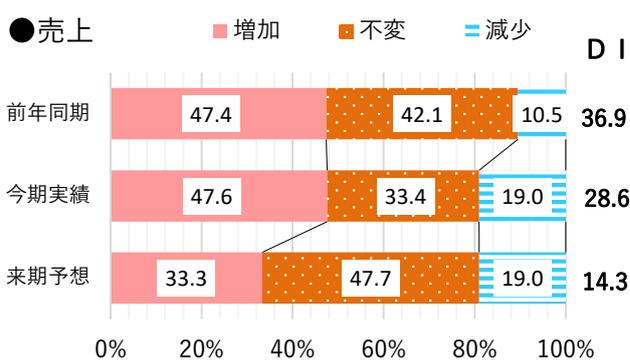
今期（2025.10～12）の業況判断DIは9.5で、前年同期（2024.10～12）と比べ4.3ポイント上昇しました。

来期（2026.1～3）の業況DIは今期（2025.10～12）と比べ4.8ポイント上昇すると予想しています。



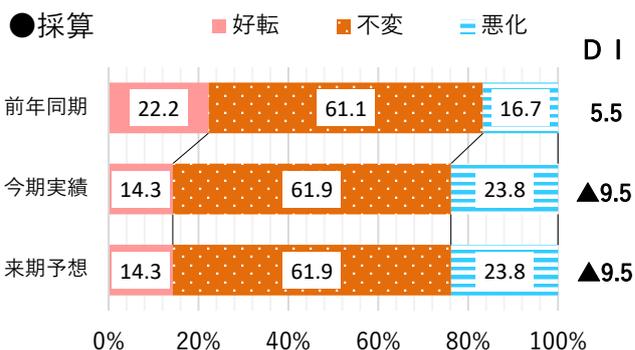
今期の売上高DIは28.6で、前年同期と比べ8.3ポイント低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ14.3ポイント低下すると予想しています。

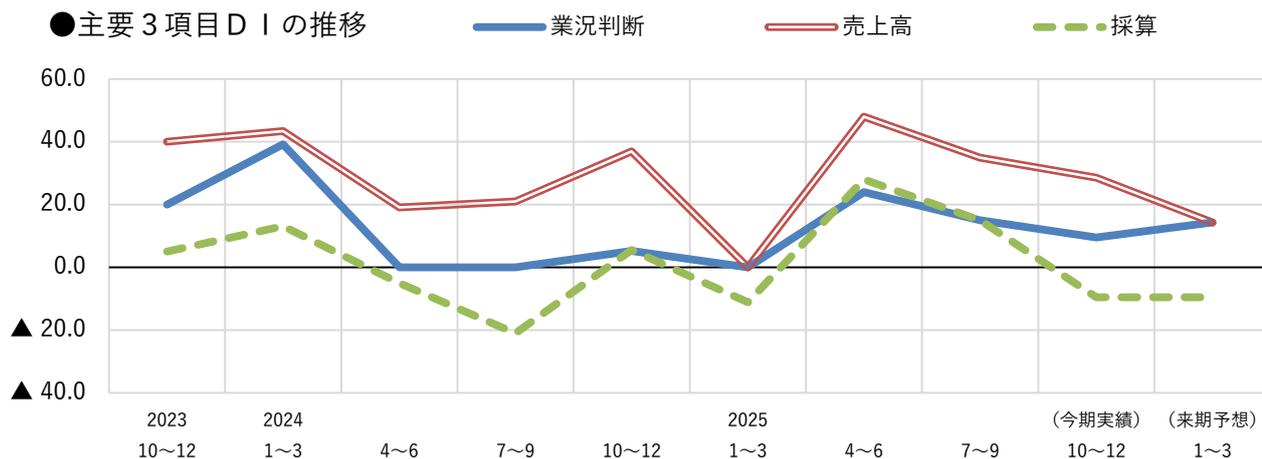


今期の採算DIは▲9.5で、前年同期と比べ15.0ポイント低下しました。

来期の採算DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



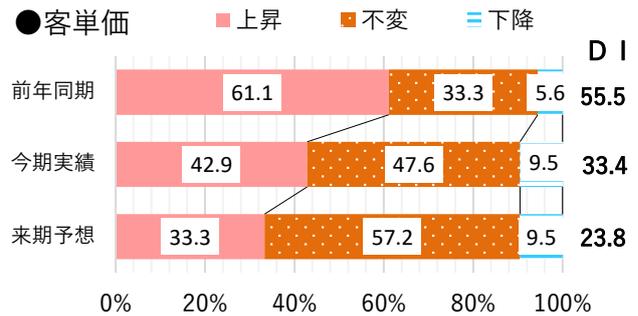
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、仕入単価

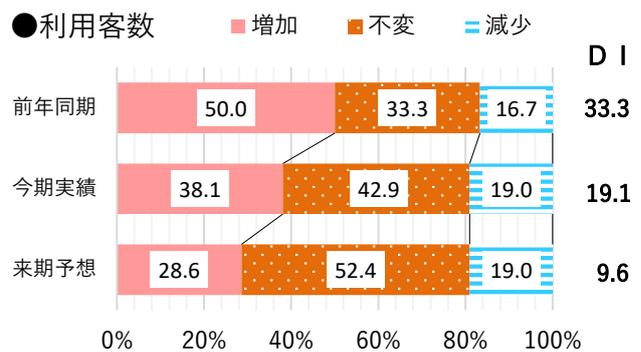
今期の客単価DIは33.4で、前年同期と比べ22.1ポイント低下しました。

来期の客単価DIは今期と比べ9.6ポイント低下すると予想しています。



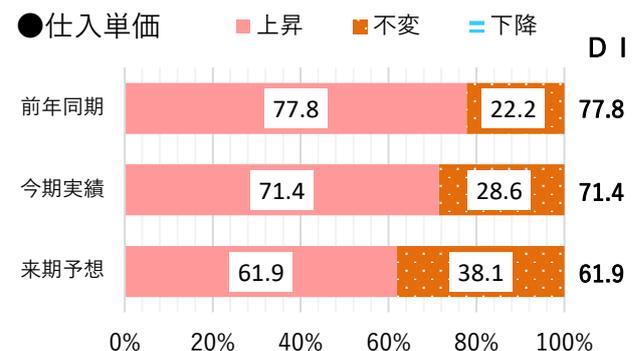
今期の利用客数DIは19.1で、前年同期と比べ14.2ポイント低下しました。

来期の利用客数DIは今期と比べ9.5ポイント低下すると予想しています。



今期の仕入単価DIは71.4で、前年同期と比べ6.4ポイント低下しました。

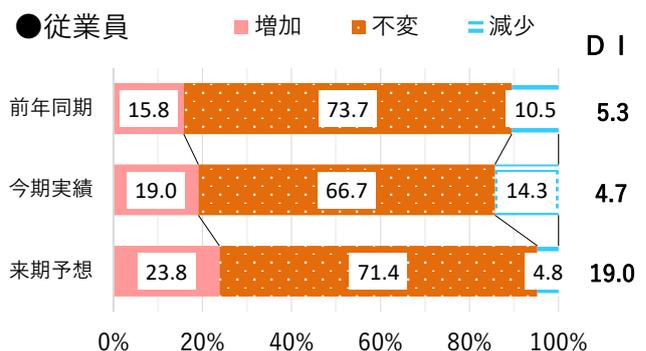
来期の仕入単価DIは今期と比べ9.5ポイント低下すると予想しています。



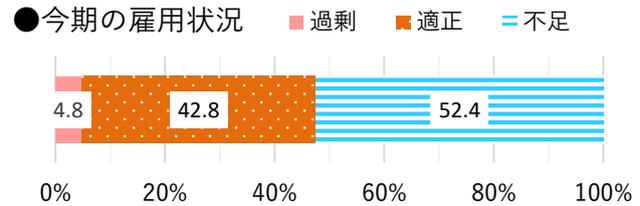
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは4.7で、前年同期と比べ0.6ポイント低下しました。

来期の従業員DIは今期と比べ14.3ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業は4.8%、適正であると回答した企業の割合は42.8%、不足していると回答した企業の割合は52.4%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」、「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」という回答で、どちらも33.3%を占めました。

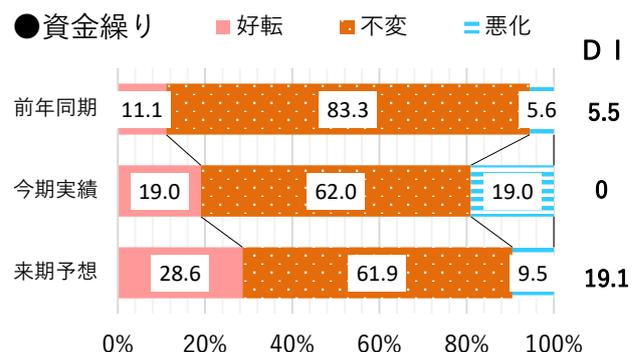
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	4.8%
	適正	9.5%
	不足	4.8%
不変だった	過剰	0%
	適正	33.3%
	不足	33.3%
減少した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	14.3%

※回答総数21社

資金繰り、設備投資

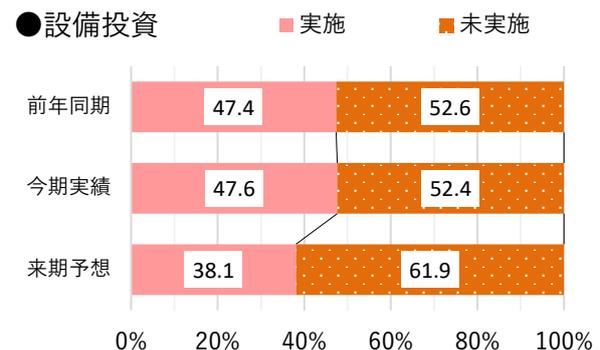
今期の資金繰りDIは0で、前年同期と比べ5.5ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ19.1ポイント上昇すると予想しています。



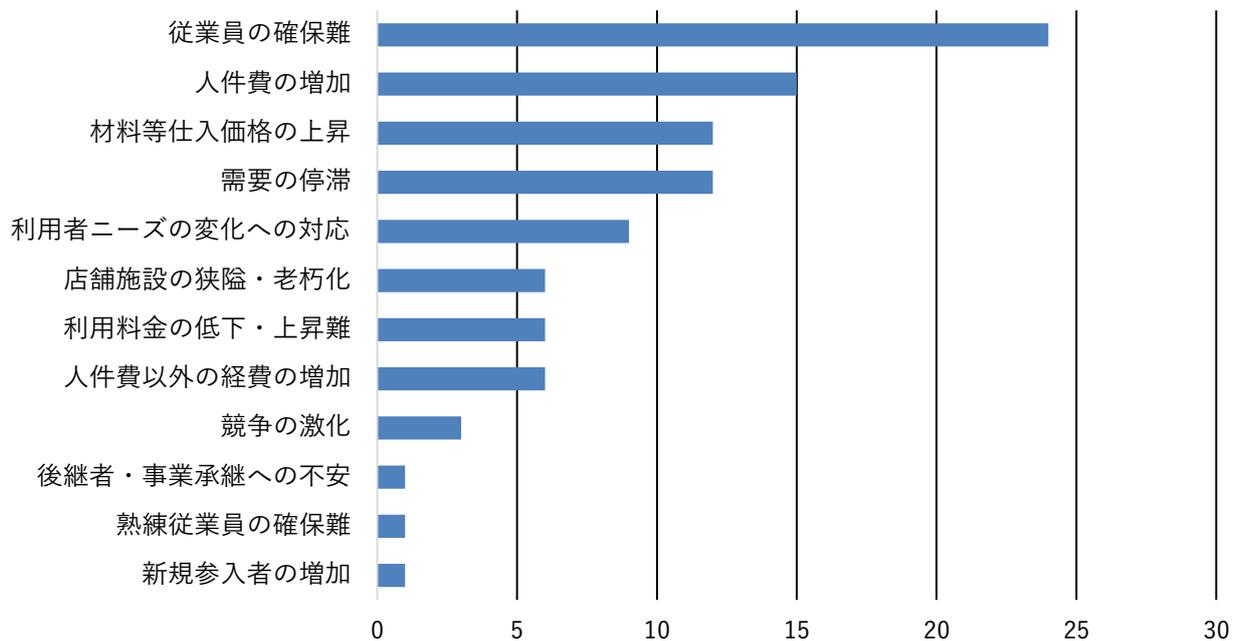
今期の設備投資は47.6%が実施と回答し、前年同期と比べ0.2%上昇しました。投資内容は、1位が「サービス設備」、「OA機器」（同位）、2位が「車両運搬具」でした。

来期は38.1%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「人件費の増加」、3位が「材料等仕入価格の上昇」、「需要の停滞」（同位）の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 物価の上昇、中でも食品の値上がりが大きく、2年半商品の値上げをしていなかったが12月に値上げを実施した。また、小樽市民は生活防衛のため価格に非常にシビアになっている。（飲食店）
- 利用客数が前年同期比で上昇したが、米の仕入価格も上昇している。人材確保については募集をかければすぐに反応がある。（飲食店）
- 仕入価格の中でも特に魚介類の価格が高騰しており、厳しい状況である。（飲食店）
- 主要食材が値上がり傾向にあり、原価率が2~3%上昇した。（飲食店）
- 販売価格を見直し、収益が伸びた。（旅行代理店）
- 仕入額の上昇により単価の上昇を強いられたが、消費者も値上げには納得してもらい"客離れ"にはならず業況は維持できた。（写真業）
- 札幌の新店舗の売上が好転している。（写真業）
- 売上の増加と、人手不足のため人件費が抑えられ、利益は好転した。（ビルメンテナンス）
- 病院の倒産等があるも個人向けの入院セットが好調でそれに伴い人材確保が必要となっている。（各種物品賃貸業）
- 売上自体は前期と変わらないがAIに依存する部分が多くなり、クラウドのコストが増えた。（情報処理・提供サービス業）
- プレミアム付商品券を利用する方がメニューをプラスで注文をしていたので客単価のアップに繋がった。仕入価格は上昇しているのですが、セールで仕入値を抑えたり、計画的に使用するなどの工夫を心掛けている。（美容業）

[来期の業況について]

- 小樽は年金生活者が多く購買力が徐々に低下していくので今の状況が続くと思う。人手不足や店舗経営

を鑑みて事業縮小も視野に入れて考えなければならない。(飲食店)

- 肌感覚だがインバウンドが減少していると思う。また、新年会などの団体の利用は不変である。
(飲食店)

- 最低賃金の上昇により人件費もアップすると予想している。(飲食店)

- 出版物をベースに新規事業を模索中である。(出版業)

- 売上は減少する予測だが、値上交渉により利益は不変の見通しである。(ビルメンテナンス)

- AI開発により生産効率が3割程度上昇。プロダクトの開発期間が短縮し、市場に出す数を増やせたので、来期は売り上げが増加する見込みである。(情報処理・提供サービス業)

- 成人式や卒業式などイベント予約が例年よりも早いので売上上昇傾向と思われる。仕入価格、人材確保、最低賃金は不変と予想する。(美容業)